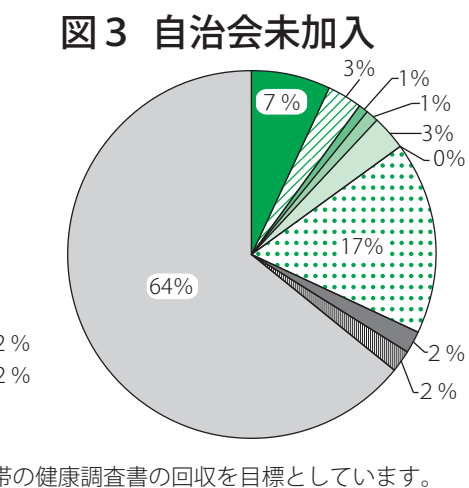
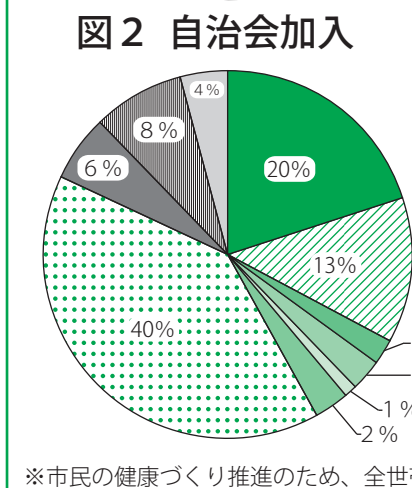
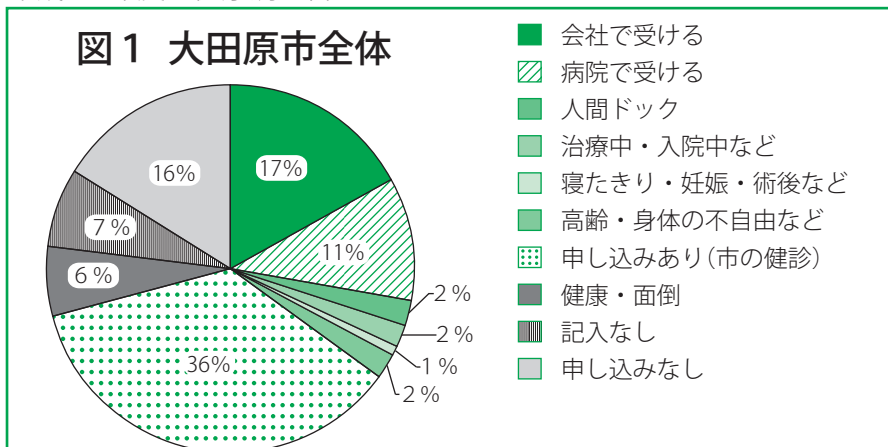


平成 22 年度 健康調査書まとめ

**健康を維持するために  
健診受診を!**

大田原市では「健康は自分に贈ることのできる最高のプレゼント」のスローガンのもと健康長寿都市宣言をしています。さてあなたはこの「健康」の判断を何でしていますか？  
良く眠れ、おいしく食べられ、毎日活動的に生活できる。だから私は健康という方がたくさんいます。そんな



※市民の健康づくり推進のため、全世帯の健康調査書の回収を目標としています。

な皆さんの中には、高血圧症、糖尿病、脂質異常症で治療のために服薬治療している方もたくさんおります。これらの方は健康なんでしょうか。  
毎日生活に支障はなくても、身体の中を流れている血管は傷み始め、治療でコントロールしていなければ血管は動脈硬化へと着々と変化し、最終的に健康障害の循環器病である脳卒中・脳梗塞・脳出血などや心臓病・狭心症・心筋梗塞などに直結し

てまいります。  
そのことを判断したり予測するのが「健康診断」です。  
平成24年度大田原市健康診断申込書(集団健診方式・医療機関方式)および健康調査書の提出はお済みですか。  
市では毎年健康診断の対象となる年齢の方に回答をいただいています。図1のように平成22年度の市全体の健康調査取りまとめ結果から、何らかの健康診断を自ら受けている方30%、医療にかかっている方5%、市の健診を申し込んだ方36%、健康への関心の薄い方29%となっています。  
図2は自治会に加入している市民の健康調査結果です。調査書は自治会経由で手渡しでの配布回収となります。市の健診を申し込んでいる方は40%、健康への関心の薄い方は18%でした。  
さらに、図3は自治会未加入者の市民の健康調査結果です。調査書は個人通知による郵送での回収です。市の健診を申し込んでいる方は、17%、健康への関心の薄い方は68%と高率です。  
自治会を通じた配布回収は、健康診断を受ける動機づけにもつながることがわかります。  
健康への関心の薄い一部の方に未受診者解消対策として、7~8月に個人通知と電話による受診勧奨を行いました。  
○対象者 3年未受診者2558名

表 1 未受診者勧奨内訳

勧奨方法	種類	対象者数	申込者数	申込率
通知	特定健診	2,053名	76名	3.7%
	がん検診	5,05名	16名	3.2%
	通知計	2,558名	92名	3.6%
電話		567名	28名	4.9%
計			120名	4.7%

(市で健診を受ける対象者で、結果データのない方)  
特定健康診断の勧奨 2053名  
・40歳から64歳の大田原市国民健康保険加入者  
・平成20~22年の3年間、市民健康調査を未受診の者  
がん検診の勧奨 505名  
○申し込みのない未受診者への電話勧奨 567名

図4から、受けるべき人の受けない理由は自己判断による健康の思い

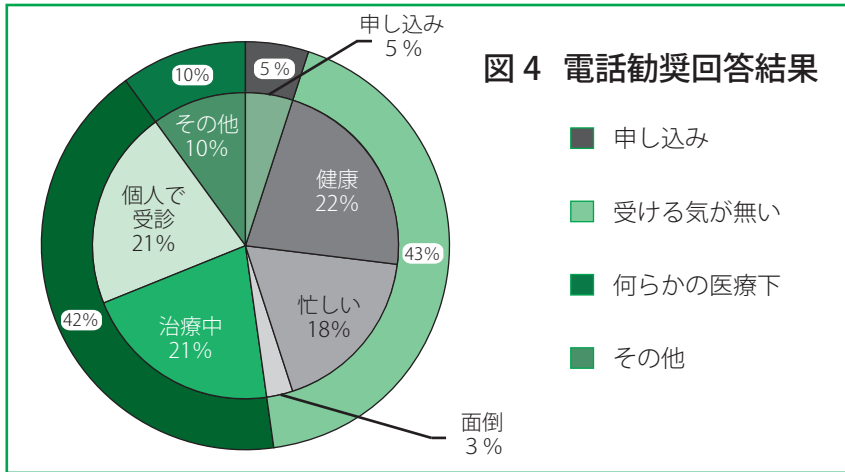


表1から2558名中、通知による申し込みとなった方は92名、3.6%でした。  
通知による申し込みのない567名に対し、電話連絡の取れる夕刻に直接受診勧奨から申し込みとなった方は28名、4.9%でした。  
全体の未受診者2558名に対し、わずか120名、4.7%しか健診申し込みには至りませんでした。

健康政策課健康危機対策係  
TEL (23) 8975

**問い合わせ**  
お子様の定期予防接種と高齢者のインフルエンザ予防接種をご希望の方は原発避難者特例法により、平成24年1月1日から市の委託医療機関で予防接種ができるようになりましたのでお知らせします。  
詳しくは、左記までお問い合わせください。

**原発避難者の方へ**  
お問い合わせ  
健康政策課成人健康係  
TEL (23) 7601

**受けて安心「健康診断」**  
皆さんの健康診断の申し込みをお待ちしております。

市では随時市民健康診査の申し込みを受け付けています。自分の健康を守る権利を無駄にせず、健診を受けることにより健康長寿を達成してください。

こみ22% (111名)、忙しい18% (92名)、面倒3% (14名) でした。  
健診は受診者の生活習慣の見直しにより個人の健康維持増進につながり、将来的な医療保険制度を健全に維持することにつながります。健康に無関心でいることは、医療保険制度上は無責任なことなのです。

冬場から春先にかけては、年間で最も輸血用血液が不足します。  
また、少子高齢化により、現在は健康で若い皆さんの一層の献血への協力が求められています。

**1〜2月は「はたちの献血」キャンペーン月間です**  
新成人の皆さん、「はたちの記念」に献血に行きましょ。キャンペーン期間中、たくさんの方のご協力をお待ちしています。

健康政策課健康危機対策係  
TEL (23) 8975

**問い合わせ**  
健康政策課成人健康係  
TEL (23) 7601

**献血のできる方**  
16歳から69歳までの健康な方(65歳以上の方は、60〜64歳の間に献血経験がある方)  
1980年〜96年の間にイギリス滞在歴のない方  
海外から帰国後4週間が経過している方  
※不明な点については、お問い合わせください。

**期 間**  
1月1日(日)〜2月29日(水)

**献血会場**  
○市総合文化会館第一会議室  
・日時 1月26日(木)  
午前10時〜正午、午後1時〜4時  
○栃木県赤十字血液センター  
○うつのみや大通り献血ルーム  
※「献血バス」の予定については、栃木県赤十字血液センターのホームページ (<http://www.jicbc.jp/>) をご覧ください。

**保健センターの教室・相談**  
福祉課社会福祉係  
TEL (23) 8707

**すくすく教室**  
10か月〜11か月のお子さんを対象とした、心と言葉を育む準備の教室です。事前に電話予約が必要です。

**問い合わせ**  
健康政策課成人健康係  
TEL (23) 7601

**すくすく教室**

■問い合わせ  
こども課母子健康係 TEL (23) 8634

日時	場所	内容	持ち物
2月17日(金) 9:30~11:30	大田原 保健センター	講話・集団指導 (親子のスキンシップ)	母子健康手帳 (親子健康手帳)

**ためして運動塾**

■問い合わせ  
健康政策課成人健康係 TEL (23) 7601

運動は内臓脂肪を減らす効果的な方法の一つです。運動習慣のきっかけづくりや、生活習慣病の予防のための教室です。

日時	場所	内容
2月8日(水) 9:15~11:30	黒羽保健センター	ウォーキング (講師の運動指導)

**問い合わせ**  
福祉課社会福祉係  
TEL (23) 8707